

Iwami Art Museum

平成27
[2015]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2015- March 2016

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	14
その他の展覧会	29
10周年事業	30
教育普及活動	32
ボランティア	36
連携事業	37
所蔵作品一覧	38
新収蔵作品一覧	53
所蔵作品貸出実績	54
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	55
収支概要	56
鳥根県芸術文化センター条例	57
鳥根県立石見美術館管理規則	62
施設概要	65
運営組織体制	68
利用案内	69

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期	
企画展	展示室D・B	HANAE MORI HAUTE COUTURE 森英恵 仕事とスタイル	平成27年 4月18日～6月8日	
	展示室D・C	澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル	平成27年 7月11日～8月31日	
	展示室D・A	祈りの仏像 石見の地より	平成27年 9月19日～11月16日	
	展示室D	こどもとファッション 小さな人々へのまなざしの歴史	平成28年 2月27日～4月11日	
特別展	展示室D	開館10周年記念 コレクション探訪 よこそ美人画館へ	平成27年12月19日～ 平成28年2月1日	
	展示室C	幼き衣へ	平成28年 3月5日～5月8日	
コレクション展	展示室A	森鷗外と明治、大正の美術	平成27年 3月18日～5月25日	
		大下藤次郎・旅とスケッチ	平成27年 5月27日～6月29日	
		大下藤次郎・山紫水明を描く	平成27年 7月1日～8月3日	
		開館10周年記念 10人の学芸員が選ぶコレクションベスト10!	平成27年 8月5日～9月14日	
		うつくしい／うつくしくない	平成27年11月21日～ 平成28年1月11日	
		あなたはどよう見る?—よく見て話そう美術について	平成28年 1月13日～3月7日	
		イワミ・メンズコレクション	平成28年 3月9日～4月25日	
	展示室B	ロシア・アヴァンギャルドのテキスタイル・デザイン	平成27年 3月26日～4月13日	
		石見根付	平成27年 6月11日～9月7日	
		バイアスカットのエレガンス マドレーヌ・ヴィオネ	平成27年 9月9日～10月26日	
		宮芳平 詩と版画	平成27年 10月28日～12月21日	
		木から生まれる美術	平成27年12月23日～ 平成28年2月29日	
		ちいさきものはみなうつくし	平成28年 3月2日～4月18日	
	展示室C	魔法の刺繍	平成27年 4月8日～5月25日	
		落ちる水・流れる水・漂う水	平成27年 5月27日～7月6日	
		雪舟をうけつぐ—雲谷派—	平成27年 9月3日～10月26日	
		何の色?何の形?抽象表現のたのしみ	平成27年 10月28日～12月21日	
		草間彌生	平成27年12月23日～ 平成28年3月2日	
	その他の展覧会	展示室D	第27回島根県健康福祉祭シルバー美術展	平成27年 6月20日～6月22日
			第48回島根県総合美術展(県展)移動展	平成27年 11月26日～11月29日
第34回益田市美術展			平成27年 12月3日～12月6日	
全島根小中学校図画作品展 益田展			平成28年 2月13日～2月15日	



ポスター



開会式



内覧会



会場

展覧会名：HANAE MORI HAUTE COUTURE 森英恵 仕事とスタイル

会 期：平成27年4月18日(土)～6月8日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月5日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料。

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、日本海テレビ、中国新聞社

特別協力：森英恵事務所、ハナエモリ・アソシエイツ

協 力：劇団四季、日活株式会社

協 賛：山陰合同銀行、JALしまね西いわみ地区本部、ヤマトロジスティクス

後 援：吉賀町、吉賀町教育委員会

内 容

当県出身の世界的に活躍するファッション・デザイナー森英恵の活動をたどる展覧会。オートクチュールはもちろん、舞台衣裳や映画衣裳、制服、そして文筆活動など、これまで展覧会では取り上げられなかった側面にも光を当て、その仕事を総合的に展覧しようとする試み。

新聞、雑誌掲載

『さんいんキラリ』No.33 展覧会告知記事

『タウン情報ラズダ』4月号 展覧会告知記事

『美術の窓』4月号4月20日 展覧会紹介記事 廣田 理紗

中国新聞週刊フリーペーパー Cue4月10日 展覧会告知記事

中国新聞4月15日 記事「足跡たどる102点 設営着々」

島根日々新聞4月17日 開幕記事「森英恵さんの足跡たどる企画展」

中国新聞4月18日 開幕記事「森英恵さん今昔 装い色とりどり」

読売新聞4月18日 開幕記事「古里彩る華麗な衣装 森英恵展きょう開幕」

山陰中央新報4月18日 開幕記事「森英恵さん 業績たどる100点」

朝日新聞4月18日 開幕記事「「原点の石見」で企画展 60年間の作品・道具一堂に」

山口新聞4月19日 開幕記事「森英恵さんの作品100点紹介」

毎日新聞4月19日 記事「森英恵さん 50年の軌跡」

中国新聞4月19日 記事「デザインの源「古里の自然に」」

中国新聞4月25日 展覧会紹介記事「一針一針情熱込め 古里で親しんだ自然 創作の原点」

産経新聞4月26日 展覧会紹介記事 美の扉「モードで追求した「日本人」

中国新聞4月28日 作品紹介① 廣田 理紗「花を染めた縮緬のワンピース」

中国新聞4月29日 作品紹介② 廣田 理紗「筆文字で蝶のカフタドレス」

中国新聞4月30日 作品紹介③ 廣田 理紗「シルクサテンとウール地で網代編みをあしらったカクテルスーツ」

中国新聞5月1日 作品紹介④ 廣田 理紗「紫地に蝶が染め抜かれた留め袖 オペラ「マダムバタフライ」蝶々夫人 2幕」

中国新聞5月2日 作品紹介⑤ 廣田 理紗「ワンピース、ラビットファーをあしらったジャケット (映画「夜霧よ今夜も有難う」)」

山陰中央新報5月5日 記事「刺しゅう作家から技法学ぶ」

中国新聞5月5日 記事「刺しゅうの魅力体感」

中国新聞セレクト5月5日 記事「デザイナー森英恵さん 彫刻家澄川喜一さん トークショー 田舎生まれだからこそ」

中国新聞5月8日 展覧会紹介記事 廣田 理紗「森英恵 日本の心発信60年」

中国新聞5月12日 記事「映画衣装で役柄「演出」」

産経新聞5月14日 関連イベント告知記事「世界的ファッションデザイナーの森英恵さんデザインの衣装続々…「狂った果実」「キューボラのある街」など今も輝く」

中国新聞セレクト5月14日 記事「ちりばめた和の美 森英恵さん 「仕事とスタイル」展」

毎日新聞5月20日 高橋 一清 近影遠影 あの日あの人「森英恵 丁寧な仕事 山陰の気質」

読売新聞夕刊5月20日 記事「森英恵さんの「日本の美」」

朝日新聞5月21日 記事「森英恵 懐深い服飾美 故郷・島根で作品展」

読売新聞(Web)5月28日 記事「森英恵さんの世界」



会場



会場



会場



会場



ワークショップ 刺繍に親しむ 初級編

印刷物

先行告知カード：15センチ角

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

こどもガイド

展覧会図録

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

トークショー 「森英恵 仕事とスタイルを語る」

華やかな衣裳の裏にある思い出や苦勞、フランスやアメリカでの生活、幼少期に暮らした島根での思い出などを、森英恵さん本人にお話しいただいた。

話し手：森 英恵(ファッション・デザイナー)

聞き手：澄川 喜一(当館館長)、南目 美輝(当館専門学芸員)

日時：4月18日(土)開演14:00(開場13:30 / 約1時間)

会場：小ホール

聴講者：210名

グラントワ・マルシェ

パリで活躍した森英恵にちなみ、フランスの市場「マルシェ」をイメージした催しを実施。地元の新鮮野菜やフランスの総菜・スイーツなどを販売した。

日時：5月3日(日)10:00～15:00

会場：中庭広場

来場者：5220名

ワークショップ 「刺繍に親しむ」

刺繍に親しむワークショップ。実際に刺繍を体験するだけでなく、刺繍にまつわるレクチャーもあった。

【入門編】

日時：5月4日(月・祝)14:00～16:00

【中級編】

日時：5月5日(火・祝)10:00～12:00

会場：講義室

講師：高橋 亜紀(刺繍作家、「アトリエ ジュ・ド・フィル」主宰)

参加者計：40名

グラントワシアター 「特集：銀幕にみる森英恵」

森英恵が衣裳を手がけた数百本の映画から、4本を特集上映。

日時：5月16日(土)

10:30～ 夜霧よ今夜も有難う(1967年/監督：江崎実生/出演：石原裕次郎、浅丘ルリ子/93分、日活)

13:00～ 狂った果実(1956年/監督：中平康/出演：石原裕次郎、津川雅彦、北原三枝/86分、日活)

15:30～ 嵐を呼ぶ男(1957年/監督：井上梅次/出演：石原裕次郎、北原三枝/100分、日活)

18:00～ キューボラのある街(1962年/監督：浦山桐郎/出演：吉永小百合/99分、日活)

会場：小ホール

鑑賞者計：105名

グラントワtea ガーデン「花茶」

日時：6月6日(土)11:00～

参加者：100名

会場：美術館ロビー

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：4月19日(日)、5月3日(日)、5月24日(日)、6月7日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D・B

企画展 澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル

会 期：平成27年7月11日(土)～8月31日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中学生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
 前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央テレビ、中国新聞社
 協 力：アサガミ株式会社、公益財団法人島根県西部山村振興財団、島根県中山間地
 域研究センター、スタジオムライ、(有)東京フォト・アークス
 後 援：芸術文化とふれあう協議会(益田市、益田市教育委員会、津和野町、津和野町
 教育委員会、吉賀町、吉賀町教育委員会)、島根県文化団体連合会、益田市
 文化協会、岩国市、岩国市教育委員会、宇部市、宇部市教育委員会

内 容

現代彫刻界の第一線で活躍する、島根県石見地方出身の彫刻家・澄川喜一の仕事を紹介。現存数の少ない最初期の具象作品から、抽象彫刻「MASK」「そりとそぎ」「そりのあるかたち」にいたる、初期から近作まで約80点を集め、50年以上におよぶ作歴を振り返った。また、全国各地に設置されている野外彫刻や、環境造形の仕事など、幅広い活躍の軌跡も紹介した。

企画の主意は、過去から現代までその作風の変遷を追い、一堂に会することで彫刻の魅力に触れ、立体のもたらず空間の面白さを体感してもらうこと、また地元出身作家の仕事を身近に感じ、郷里に誇りをもってもらうことなどを目標にした。当初、抽象彫刻は高次な美術表現であるというイメージの先行が懸念されたが、その心配はなく、むしろ来館者の共感度が高く、素材である木への親しみも感じてもらえた。

新聞、雑誌掲載

美しゅん新報6月20日 澄川喜一インタビューと展覧会告知

山陰すぽっと6月26日 展覧会紹介記事

『芸術新潮』7月号 展覧会紹介記事

『美術の窓』7月号7月20日 展覧会特集記事

広報はまだ7月号 展覧会情報

広報ますだ7月号 展覧会情報

広報つわの7月号 展覧会情報

読売新聞7月3日 展覧会情報

中国新聞7月9日 記事「石見美術館で11日から企画展 木彫中心に80点展示 学芸員ら組み合わせ作業」

山陰中央新報7月9日 記事「搭乗者に無料観覧特典」

ギャラリー7 7月1日 展覧会紹介記事

中国新聞7月11日 開幕記事

山陰中央新報7月11日 開幕記事

中国新聞7月11日 記事「石見空港発着利用者は展覧会入場無料」

読売新聞7月12日 開幕記事

朝日新聞7月12日 開幕記事

毎日新聞7月12日 開幕記事

中国新聞7月12日 開幕記事

山陰中央新報7月29日 ワークショップ広報

中国新聞7月29日・30日・31日・8月2日 左近充 直美 展覧会紹介連載記事

『月刊美術』8月号 展覧会紹介記事

読売新聞8月2日 ワークショップ紹介記事

山陰中央新報8月8日 展覧会紹介記事

中国新聞セレクト8月8日 左近充 直美 展覧会紹介記事

中国新聞8月18日 展覧会紹介記事



彫刻ツアートーク



ワークショップ



木工体験教室



対話型鑑賞授業

中国新聞8月25日 記事「澄川さんと作品鑑賞 益田で元衆院議長・綿貫さん」

中国新聞8月27日 記事「澄川彫刻ここがすごい 県立石見美術館 益田高生が対話型鑑賞」

中国新聞8月31日 記事「澄川さん 会場で青春談義 グラントワの企画展 岩国工高同窓生ら訪問」

美術年鑑 H28年度版 左近充 直美「過去・現在・未来—澄川喜一の彫刻空間」

BEST EXHIBITION2015 企画展特集記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

展覧会鑑賞ガイド「澄川喜一スペシャルインタビュー」

展覧会図録

(デザイン：すべて渡部印刷株式会社)

関連事業

澄川喜一 彫刻ツアー・トーク

作家によるスペシャルギャラリートーク。企画展会場のほかに、グラントワの野外彫刻もめぐりつつ作品について語った。

講師：澄川 喜一

日時：①7月11日(土)／②8月2日(日)14:00～15:30

会場：展示室D・C

参加者：120名

ワークショップ 「木でつくる小さなモニュメント」

作家による木のワークショップ。木材を削ったりつなげたりして、小さなモニュメントを制作した。子供から大人まで、鉋を削る体験や、道具の使い方といった普段触れる機会がない木工体験を通じて、参加者が各自の自由な発想でモニュメントを完成させた。

講師：澄川 喜一

日時：8月1日(土)14:00～16:00

会場：多目的ギャラリー

参加者：31名

木工体験教室 「しまねの木を使った「オリジナルブックスタンド」づくり」

しまね文化振興財団企画による、夏休みの子供向け木工体験教室。学年に応じた行程でオリジナルのブックスタンドを完成させた。

講師：高城 琢馬、熱田 智之(公益財団法人島根県西部山村振興財団)

日時：①8月16日(日)／②8月23日(日)

会場：講義室

参加者：20名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：7月18日(土)、7月26日(日)、8月9日(日)、8月23日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D・C

グラントワ tea ガーデン「清流茶」

日時：8月8日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100名

企画展 祈りの仏像 石見の地より



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 祈りの仏像 石見の地より

会 期：平成27年9月19日(土)～11月16日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし9月22日、11月3日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金 *小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県、島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、山口朝日放送、中国新聞社、山陰中央新報社

補 助：文化庁

後 援：山口県、松江市、出雲市、大田市、江津市、浜田市、芸術文化とふれあう協議会(益田市、益田市教育委員会、津和野町、津和野町教育委員会、吉賀町、吉賀町教育委員会)、北広島町、島根県文化団体連合会、益田市文化協会、島根県仏教会、益田市仏教会

特別協力：浄土宗石見教区

内 容

開館10周年記念企画展。本展覧会に向けた石見全域に及ぶ学術調査により新たに見出された文化財級の仏像10体を中心に、中国地方5 県から各地域を代表する仏像・仏画の秀作を一堂に集め、当地の歴史と文化の特性を時代を追って紹介した。

新聞、雑誌掲載

- 中国新聞7月25日 記事「県西部 貴重な仏像11体」
- 山陰中央新報7月25日 記事「中国地方最古の木彫仏像」
- 朝日新聞7月25日 記事「仏像11体発見」
- 読売新聞7月26日 記事「仏像文化財級 新たに11体」
- 毎日新聞7月31日 記事「仏像11体 石見で新たに」
- 中国新聞9月15日 記事「「祈りの仏像」バス発車」
- 山陰中央新報9月15日 記事「ラッピングバス運行開始」
- 毎日新聞9月16日 記事「仏像PRラッピングバス」
- 読売新聞9月17日 記事「仏像展をPR ラッピングバス」
- 山陰中央新報9月17日 記事「貸し切りバスの来館団体に助成」
- 島根日日新聞9月18日 記事「中国地方最古の木彫像 公開」
- 中国新聞9月19日 開幕記事「人々の思い宿る仏像・仏画」
- 山陰中央新報9月19日 開幕記事「国宝、重文など60点一堂に」
- 読売新聞9月19日 開幕記事「仏像 祈りの歴史たどる」
- 山陰中央新報9月20日 開幕記事「「祈りの仏像」60点一堂に」
- 中国新聞9月21日 記事「仏像の気分でダンス」
- 毎日新聞9月21日 記事「仏像ポーズ熱心に」
- 山陰中央新報9月22日 記事「仏像の魅力 踊りで表現」
- 朝日新聞9月24日 開幕記事「仏像・絵巻 初公開含む60点」
- 山陰中央新報9月25日 明窓
- 山陰中央新報9月26日 作品紹介 椋木 賢治「観音菩薩立像(圓福寺)」
- 中国新聞9月27日 記事「地域の宝「四天王」晴れ舞台」
- 中国新聞9月28日 記事「益田で「月夜」イベント」
- 中国新聞10月2日 記事「企画展と山陰グルメ 島根バスツアー」
- 山陰中央新報10月3日 作品紹介 椋木 賢治「地藏十王像(日光寺)」
- 山陰中央新報10月5日 作品紹介 椋木 賢治「阿弥陀如来坐像(龍蔵寺)」
- 中国新聞10月6日 記事「グラントワで「月夜の祈り」」
- 山陰中央新報10月7日 作品紹介 椋木 賢治「観音菩薩立像(善興寺)」
- 山陰中央新報10月10日 作品紹介 椋木 賢治「四天王立像(古保利薬師堂)」
- いわみりびえーる10月11日 「仏像を知ろう！」
- 中国新聞10月14日 作品紹介 椋木 賢治「観音菩薩立像(圓福寺)」



会場



ワークショップ 仏像×ダンス

中国新聞10月15日 作品紹介 椋木 賢治「四天王立像(古保利薬師堂)」
 中国新聞10月16日 作品紹介 椋木 賢治「十一面観音菩薩立像(神福寺)」
 山陰中央新報10月16日 作品紹介 椋木 賢治「阿弥陀如来坐像(福城寺)」
 山陰中央新報10月17日 全10段記事「祈りの仏像 石見の地より」
 山陰中央新報10月17日 作品紹介 椋木 賢治「地藏菩薩坐像(東隆寺)」
 中国新聞10月18日 記事「入館1万人突破」
 中国新聞10月18日 作品紹介 椋木 賢治「釈迦如来坐像(龍澤寺)」
 山陰中央新報10月18日 記事「来場者1万人達成」
 中国新聞10月19日 作品紹介 椋木 賢治「万五千仏図(不動院)」
 『美術の窓』10月号10月20日 椋木 賢治「石見の仏像研究の最先端」
 山陰中央新報10月20日 作品紹介 椋木 賢治「阿弥陀如来立像(浄慶寺)」
 山陰中央新報10月23日 作品紹介 椋木 賢治「阿弥陀如来立像(教西寺)」
 山陰中央新報10月24日 作品紹介 椋木 賢治「釈迦如来坐像(龍澤寺)」
 山陰中央新報10月24日 椋木 賢治「中世益田ものがたり 仏像の集中伝存」
 中国新聞10月25日 記事「香木の粉調合 匂い袋作り」
 山陰中央新報10月25日 記事「9種の香原料を配合 自分用匂い袋できた」
 山陰中央新報10月27日 作品紹介 椋木 賢治「阿弥陀如来立像(善徳寺)」
 山陰中央新報10月30日 作品紹介 椋木 賢治「大日如来坐像(永明寺)」
 中国新聞セレクト10月31日 椋木 賢治「人々の祈り宿す 中国5県の仏像」
 中国新聞11月1日 記事「益田で「中世の食」体験」
 山陰中央新報11月3日 作品紹介 椋木 賢治「釈迦如来坐像(聖徳寺)」
 山陰中央新報11月5日 記事「グラントワHP 外国語で展示紹介」
 山陰中央新報11月6日 作品紹介 椋木 賢治「地藏菩薩坐像(金剛院)」
 山陰中央新報11月11日 作品紹介 椋木 賢治「然阿良忠坐像(光明寺)」
 山陰中央新報11月12日 作品紹介 椋木 賢治「当麻曼荼羅縁起絵巻(光明寺)」
 山陰中央新報11月12日 鑑賞ノート
 山陰中央新報11月13日 鑑賞ノート
 山陰中央新報11月14日 鑑賞ノート(大特集)
 山陰中央新報11月14日 鑑賞ノート

印刷物

展覧会ポスター：B2 展覧会チラシ：A3二つ折
 こどもガイド(シール付き) オリジナルポストカード 8種類
 展覧会図録
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

美術講座「もっと知りたい石見の仏像!」

講師：椋木 賢治(当館学芸課長)
 日時：10月31日(土)14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：37名

出張特別講座「祈りの仏像 石見の地より」

講師：椋木 賢治(当館学芸課長)
 日時：10月25日(日)14:00～15:30
 会場：島根県立図書館
 参加者：38名

ワークショップ 仏像×ダンス

【ワークショップ】 日時：9月20日(日)
 会場：スタジオ1
 【パフォーマンス】 日時：9月21日(月・祝)
 会場：グラントワ ※詳細は「教育普及活動」(32ページ)に記載



ワークショップ オリジナル「匂い袋」をつくろう!



月夜の祈り



ギャラリートーク

ワークショップ オリジナル「匂い袋」をつくろう!

仏教の伝来とともに日本にもたらされた「香」文化にちなみ、香原料を調合してオリジナルの匂い袋を製作。

日 時：10月24日(土)、25日(日) 各日11:00～(随時)

会 場：美術館ロビー

参加者：161名

中世の食と音楽の再現 十五夜の宴

日 時：9月27日(日) 17:30～

会 場：萬福寺 ※詳細は「教育普及活動」(32ページ)に記載

あかりのイベント 月夜の祈り

グラントワの中庭広場をやわらかな灯りで演出。あわせてミニコンサートも開催。

日 時：9月26日(土)、27日(日) 各日18:00～20:00

会 場：中庭広場

◎ミニコンサート 各日18:30～

出 演：26日：東保 光(コントラバス、仏具)、喜羽 美帆(二十五絃箏)、福原 千鶴(鼓、締太鼓)
27日：ピアノ&ストリングスアンサンブル

会 場：26日：中庭広場

27日：美術館ロビー

いつでもどこでも音楽祭

◎祈りと希望のサウンドコラージュ『Eternal story』

日 時：9月20日(日) 12:30～

会 場：美術館ロビー

出 演：イデアルアンサンブル(サクソアンサンブル)

◎明日への祈り

日 時：11月1日(日) 12:30～

会 場：美術館ロビー

出 演：結～Yui～(フルート、ヴィオラ、ピアノのユニット)

グラントワtea ガーデン「香福茶」

日 時：10月18日(日) 11:00～

参加者：100名

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員

日 時：9月26日(土)、10月4日(日)、10月24日(土)、11月7日(土)、11月15日(日)
いずれも14:00～

会 場：展示室D・A

先着プレゼント

会期中毎日、先着20名様に企画展オリジナル「仏像ポストカード」と「木製カード立て」をセットでプレゼントした。ポストカードは全8種類。

仏像ぬりえにチャレンジ

展覧会特製の仏像ぬりえを自由に楽しめるコーナーをロビーに設置した。

萩・石見空港利用者の優待

会期中、萩・石見空港を発着する航空便に搭乗した方を本展覧会に無料招待した。

団体バス助成

団体バスでの来館者を対象にバス利用料の助成を行った。

企画展 こどもとファッション 小さな人たちへのまなごしの歴史



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 こどもとファッション 小さな人たちへのまなごしの歴史

会 期：平成28年2月27日(土)～4月11日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中学生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

※()内は20名以上の団体料金

※障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、BSS山陰放送

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後 援：芸術文化とふれあう協議会(益田市、益田市教育委員会、津和野町、津和野町教育委員会、吉賀町、吉賀町教育委員会)、島根県文化団体連合会、益田市文化協会、益田市保育研究会、益田市私立幼稚園連合会

内 容

本展では、西欧と、日本の明治から戦後にいたる子ども服を中心に、絵画、写真、版画、書籍等に見出せる子どもの装いをめぐる多彩な表現を追って、時代ごとに変化する子ども観のあり様を検証した。関連事業では、子どもを対象としたファッションショーのワークショップや、地域の団体と協働で食育をテーマとした映画上映会やマルシェを開催するなど、劇場施設の活用と、地域との連携にも取り組んだ。なお、本展はH23年に展覧会案を作成し、全国に参加を呼びかけた企画。当館が幹事館となって神戸ファッション美術館、東京都庭園美術館を巡回する展覧会となった。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 南目 美輝「西洋の子ども服の誕生からその後の変遷をたどる」

読売新聞2月24日 記事「子ども服展 準備着々」

読売新聞2月27日 開幕記事

中国新聞2月27日 開幕記事

山陰中央新報2月27日 開幕記事

読売新聞2月28日 記念講演会取材記事

The Japan Times 3月2日 展覧会紹介記事

朝日新聞3月2日 映画上映会紹介記事

中国新聞3月2日 映画上映会紹介記事

読売新聞3月2日 作品紹介 南目 美輝 「男児用スリーピース・アンサンブル」

読売新聞3月3日 作品紹介 南目 美輝 「女兒用コート・ドレス」

読売新聞3月4日 作品紹介 南目 美輝 児島虎次郎「登校」

朝日新聞3月4日 記事「子ども服で時代を読む」

毎日新聞3月4日 展覧会紹介記事

読売新聞3月5日 作品紹介 南目 美輝 小出楯重「ラッパを持つる少年」

読売新聞3月7日 作品紹介 南目 美輝 「女兒用ワンピース・ドレス」

いわみりびえーる3月13日 展覧会紹介記事

読売新聞3月13日 ワークショップ取材記事

山陰中央新報3月13日 ワークショップ取材記事

朝日新聞3月16日 ワークショップ取材記事

読売新聞3月20日 映画上映会紹介記事

山陰中央新報3月23日 ワークショップ取材記事

読売新聞3月27日 映画上映会取材記事

朝日新聞3月27日 映画上映会取材記事

中国新聞3月27日 映画上映会取材記事

山陰中央新報3月29日 関連イベント紹介記事

毎日新聞3月30日 ワークショップ取材記事

服飾美学第62号3月31日 南目 美輝 展覧会案内

中国新聞4月10日 映画上映会取材記事

読売新聞4月27日 展覧会紹介記事「巡回館の特徴生かす」

山陰中央新報8月21日 記事「東京で益田発企画展」



記念講演会



記念講演会



ワークショップ 制作



ワークショップ ファッションショー



トークショー

印刷物

- 展覧会ポスター：B2
- 展覧会チラシ：A4変形
- 子どものための鑑賞ガイド
- 先行告知カード
- 展覧会図録
(デザイン：すべてD_CODE)
- 来館者プレゼント「クリアファイル」2種
(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「子どもは愛されたのか？—ヨーロッパの子ども服の歴史」

本展監修者の能澤氏に子どもとファッションの深いかかわりについてお話いただいた。展覧会にちなんだオリジナルのお菓子と飲み物の提供を行った。

講師：能澤 慧子(東京家政大学教授)

日時：2月27日(土)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：30名

ワークショップ 「子ども服飾デザイン研究室vol.2《こども服をつくろう》」

小中学生を対象としたワークショップ。H26年度開催「子ども服飾デザイン研究室」を引き継ぐ内容。子ども自身が作りたい服をデザイン・制作し、成果をファッションショーというスタイルで発表した。ファッションショーの来場者は101名。

レクチャー・制作

講師：当館学芸員、当館ワークショップボランティアスタッフ

日時：2月28日(日)10:00～12:00 3月12日(土)、13日(日)10:00～16:00

会場：展示室、講義室

ファッションショー

講師：大塚 恵美子(演出家)、山根 浩志(ピアニスト)、モチェオ久美(声楽家)

日時：練習 3月19日(土)、20日(日)10:00～16:00

本番 3月21日(月・祝)14:00～

会場：小ホール

いつでもどこでも音楽祭「こどもとファッションと童謡」

童謡のミニコンサート。童謡と子ども服の関係について学芸員によるレクチャーも実施。

出演：柿谷 美雪(ソプラノ)、永田 瑛子(ピアノ)

日時：3月19日(土)12:30～

会場：美術館ロビー

参加者：79人

映画「100年ごはん」上映会×大林監督によるトーク×マルシェ

地域の団体と実行委員会を結成し、上映会にあわせ保育所給食の試食を行う。映画上映会にあわせ大林千景監督によるトークも実施。あわせて高津川、益田川流域の美味しいものを集めたマルシェを開催。

日時：3月26日(土)上映会 10:00～、14:30～ トークショー 11:10～12:20

マルシェ 10:00～16:00

会場：上映会 小ホール マルシェ 大ホールホワイエ

上映会来場者：499名

グラントワ tea ガーデン「ぬくもり茶」

日時：3月5日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100人

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：2月28日(日)、3月13日(日)、4月2日(土)、4月10日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D

先着プレゼント

会期中毎日、先着20名に展覧会オリジナル「クリアファイル」をプレゼントした。

特別展

展示室D 開館10周年記念 コレクション探訪 ようこそ美人画館へ

会 期：平成27年12月19日(土)～平成28年2月1日(月)

内 容：開館10周年を記念し、所蔵作品から女性像39点、および雑誌や印刷物など明治時代から昭和初期の女性イメージにまつわる資料を展示。当館の収集方針である「ファッション」にちなんだ美人画のコレクションが一望できる機会となった。展示室を「館(やかた)」に見立て、各部屋に「洋画の間」、「浴室」、「モダンガール大広間」などの名称をつけた構成や、岡田三郎助《黒き帯》に描かれた女性をキャラクター化した「黒木帯子」が「美人画館」の女主人として各部屋を案内する解説パネルなどが好評であった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年(1908～09)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3		舞踊図屏風	江戸時代前期	紙本金地着色、二曲一隻	島根県立石見美術館
4		遊楽美人図	江戸時代前期	紙本着色、対幅	島根県立石見美術館
5		柳橋扇面流遊女図屏風	江戸時代前期	紙本金地着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
6	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
7	鏑木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
8	榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
9	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
10	池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
11	不二木 阿古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
12	北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
13	北野 恒富	むすめ	大正4年(1925)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
14	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	裸婦	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	裸婦	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	岸田 劉生	内藤夫人の像	大正8年(1919)	木炭・パステル、紙	島根県立石見美術館
19	藤田 嗣治	婦人像	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	東郷 青児	婦人像	昭和5～10年(1930～35)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	安井 曾太郎	水浴図	大正元～14年(1912～25)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	児島 善三郎	椅子による	大正14～昭和3年(1925～28)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
23	島崎 柳塘	夕風	明治時代後期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
24	小早川 清	宵	昭和11年(1936)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
25	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
26	広田 多津	ふたり	昭和13年(1938)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
27	菊池 隆志	室内	昭和9年(1934)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
28	山田 喜作	湘南初夏	昭和6年(1931)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
29	山田 喜作	真夏の港	昭和7年(1932)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
30	武藤 嘉門	ショーウィンドウ	昭和12年(1937)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
31	北野 以悦	春	昭和6年(1931)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
32	橋本 明治	莊園	昭和9年(1934)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
33	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
34	菊池 華秋	雪晴	昭和13年(1938)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
35	橋本 明治	蓮を聴く	昭和11年(1936)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
36	榎本 千花俊	口紅を描く	昭和10年(1935)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
37	柿内 青葉	池	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
38	榎本 千花俊	揚揚戯	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
39	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
40		『少女世界』	明治41～大正2年(1908～1913)	雑誌	島根県立石見美術館
41		『少女界』	明治41～43年(1908～1910)	雑誌	島根県立石見美術館
42	竹久 夢二(表紙)	セノオ楽譜	大正6～10年(1917～1921)	印刷物	島根県立石見美術館
43	小林 かいち、ほか(デザイン)	絵封筒	大正時代末～昭和時代初期	木版、紙	島根県立石見美術館
44		『婦人グラフ』	大正13～昭和3年(1924～28)	雑誌	島根県立石見美術館
45		『アール・グー・ポータ』	1927～1931年	雑誌	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：A3二つ折り(デザイン：Graphic Group Twelve)

関連事業

名画をいろいろ話芸と音楽 vol.8

日 時：平成28年1月24日(日)

会 場：展示室D ※詳細は「教育普及活動」(33ページ)に記載

新聞、雑誌掲載

中国新聞11月30日 ワークショップ開催記事

『さんいんキラリ』No.35 12月3日 展覧会情報

朝日新聞12月18日 展覧会情報

中国新聞12月20日 展覧会紹介記事

『美術の窓』12月号12月20日 展覧会情報

山陰中央新報1月7日 展覧会紹介記事

朝日新聞1月13日 展覧会紹介記事

毎日新聞1月22日 展覧会情報

中国新聞1月25日 「名画をいろいろ話芸と音楽」開催記事

読売新聞1月26日 展覧会紹介記事



チラシ

特別展

展示室C 幼き衣へ

会 期：平成28年3月5日(土)～5月8日(日)

内 容：子どものためにつくられた「背守り」のある着物を特集展示。併せて、「背守り」や「百徳」など、子どもの健やかな成長を祈念してつくられた着物を撮り下ろした写真家・石内都の作品を展示した。石内都は、衣服や身体とそこに刻まれた記憶との関わりをテーマに作品を発表している。ハッセルブラッド国際写真賞を受賞、大規模な個展が米国、J.ポール・Getty美術館で開催されるなど、国内外で活躍中。なお、本展は、企画展「こどもとファッション」に併せて開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		背守りのある子ども用着物	大正時代	通称「ねこ」とよばれている子ども用綿入れ(中に綿を入れた防寒用の衣類)。熊のアプリケの背守り。	鳴海友子氏蔵
2		背守りのある子ども用着物		藍の型染め、木綿の子ども用着物。ピンクの糸じるしの背守り、三角形の布が縫いとめられている。	鳴海友子氏蔵
3		背守りのある子ども用着物	江戸時代後期	藍の型染めの子ども用着物。手絡 ^{てから} を用いて風車をかたどり、まわりを白いフリルで縁取った背守り。	鳴海友子氏蔵
4		背守りのある子ども用着物		藍の絞り染め、木綿の子ども用着物。襟下にモスリンの紐の背守り。	鳴海友子氏蔵
5		背守りのある子ども用着物		「JOAK」の英字をちりばめた絹、子ども用着物。青地部分に白糸で桜文を刺しゅうした背守り。	鳴海友子氏蔵
6		背守りのある子ども用着物	江戸時代後期	子ども用着物。「福」の文字を刺しゅうした上に、糸じるしの縫い取りの背守り。	鳴海友子氏蔵
7		背守りのある子ども用着物		黄八丈(八丈島に伝わる草木染めの絹織物)の子ども用着物。こもりをかたどった背守り。	鳴海友子氏蔵
8		背守りのある子ども用着物		菱形の縮緬と唐獅子を染めた絹地を組み合わせた子ども用着物。童人形の後ろ姿の押絵。	鳴海友子氏蔵
9	石内 都	#1	2014年	タイプCプリント	作家蔵
10	石内 都	#2	2014年	タイプCプリント	作家蔵
11	石内 都	#3	2014年	タイプCプリント	作家蔵
12	石内 都	#6	2014年	タイプCプリント	作家蔵
13	石内 都	#7	2014年	タイプCプリント	作家蔵
14	石内 都	#18	2014年	タイプCプリント	作家蔵
15	石内 都	#31	2014年	タイプCプリント	作家蔵
16	石内 都	#34	2014年	タイプCプリント	作家蔵
17	石内 都	#35	2014年	タイプCプリント	作家蔵
18	石内 都	#43	2014年	タイプCプリント	作家蔵
19	石内 都	#56	2014年	タイプCプリント	作家蔵
20	石内 都	#57	2014年	タイプCプリント	作家蔵
21	石内 都	#72	2014年	タイプCプリント	作家蔵
22	石内 都	#73	2014年	タイプCプリント	作家蔵
23	石内 都	#74	2014年	タイプCプリント	作家蔵
24	石内 都	#75	2014年	タイプCプリント	作家蔵
25	石内 都	#78	2014年	タイプCプリント	作家蔵
26	石内 都	#79	2014年	タイプCプリント	作家蔵
27	石内 都	#80	2014年	タイプCプリント	作家蔵

印刷物

展覧会チラシ A4(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

アーティスト・トーク

石内都が、出品作について、また被写体となった子どもの着物について語った。

日 時：3月5日(土)14:00～

会 場：展示室C

新聞、雑誌掲載

いわみりびえーる2月28日 展覧会情報

朝日新聞3月4日 アーティスト・トーク開催情報

山陰中央新報3月5日 展覧会情報

読売新聞3月6日 展覧会、アーティストトーク紹介記事「縫い目に親の愛「背守り」着物展」

中国新聞3月6日 展覧会、アーティストトーク紹介記事「いとしき子の成長願う衣」

読売新聞3月28日(大阪・夕刊) 記事「小さな命 包む愛」

『フォトテクニックデジタル』5月号5月1日 展覧会情報



チラシ

展示室A 森鷗外と明治、大正の美術

会 期：平成27年3月18日(水)～5月25日(月)

内 容：森鷗外と交遊のあった画家たちによる明治、大正時代の作品を紹介した。あわせて画家たちが挿画や装丁を担当した鷗外の著書も展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・フォン・マックス	チロル、カルテルンの故テレーゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初頭	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	原田 直次郎	男児図	明治20～31年(1887～98)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	原田 直次郎(画)	『新著百種』第12号・表紙、挿画	明治24年(1891)	冊子	島根県立石見美術館
5	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年(1908～09)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山本 芳翠(画)	『蜻蛉集』	1885年	冊子	島根県立石見美術館
11	小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正時代初期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	風景	大正時代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
16	木下 柰太郎	助六	大正時代頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	中村 不折	裸体	明治36～38年(1903～05)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	中村 不折	裸婦	明治末～大正初期頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	野の道	明治28年(1895)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	桜 *4月13日まで展示	明治36～44年(1903～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	静物 林檎 *4月13日まで展示	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	山の風景 *4月15日から展示	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	つつじ *4月15日から展示	明治32年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	『水彩画の葉』	明治34年(1901)	冊子	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	手記「ぬれきぬ」	明治23年(1890)	墨、紙	島根県立石見美術館
29	森 鷗外	『水彩画の葉』題言	明治34年(1901)	墨、紙	島根県立石見美術館
30	中村 不折(装丁)	『人の一生、飛行機』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
31	藤島 武二(装丁)	『寂しき人々』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
32	藤島 武二	『蛙』	大正8年(1919)	書籍	島根県立石見美術館
33	木下 柰太郎(装丁)、 和田 英作(挿画)	『ギョッツ』	大正5年(1916)	書籍	島根県立石見美術館
34	長原 孝太郎(画)	『玉匣両浦島』	明治35年(1902)	書籍	島根県立石見美術館
35	橋口 五葉(装丁)	『塵泥』	大正4年(1915)	書籍	島根県立石見美術館
36	橋口 五葉(装丁)	『青年』	大正2年(1913)	書籍	島根県立石見美術館

展示室A 大下藤次郎・旅とスケッチ

会 期：平成27年5月27日(水)～6月29日(月)

内 容：大下藤次郎が各地を旅して描いたスケッチや水彩画を、日記、絵日記などの旅行の記録とともに紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	磐梯山噴火口	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	磐梯山噴火口	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	泉邸	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	絵日記	明治40年(1907)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	絵日記	明治41年(1908)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	『瀬戸内海写生一週』	明治44年(1911)	発行：興文社	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	西総田舎の景	明治26年(1893)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	菱花湾日記	明治29年(1896)	墨・水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	送別紀行	明治29年(1896)	墨・水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	頓狂三疋連れ 馬鹿々々し記	明治29年(1896)	墨・水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	淵崎の製塩所	明治43年(1910)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	越前堀	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	護国寺内	明治26年(1893)3月2日	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	十二社裏	明治26年(1893)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	「写生同盟記事」	明治26年(1893)	墨、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	京都近郊の所見	明治28年(1895)7月7日	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	京都途上所見	明治28年(1895)7月7日	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	つり	明治28年(1895)9月15日	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	井の頭辺	明治28年(1895)10月13日	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	風景習作(目黒)	明治28年(1895)10月17日	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	風景習作(品川)	明治28年(1895)10月20日	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	穴守稲荷	明治28年(1895)10月20日	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	戸山	明治28年(1895)11月6日	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	八王子河原	明治28年(1895)11月15日	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	武州七国峠	明治28年(1895)11月11日	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	相州塩川瀑	明治28年(1895)11月12日	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	日記「明治二十八年之記」	明治28年(1895)	墨、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	賀茂	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	仁和寺三門	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	仁和寺五重塔	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	天真院	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	清水寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
33	大下 藤次郎	二十八番観音	明治30年(1897)8月16日	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
34	大下 藤次郎	秩父琴平山	明治30年(1897)8月16日	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
35	大下 藤次郎	プリスパーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
36	大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
37	大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
38	大下 藤次郎	サウスヘッド、シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
39	大下 藤次郎	シドニー、サーキュラーキー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
40	大下 藤次郎	シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
41	大下 藤次郎	シドニー、N.S.W.	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
42	大下 藤次郎	メルボルン港	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
43	大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
44	大下 藤次郎	赤道直下にて	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
45	大下 藤次郎	軍艦金剛にて(全9点)	明治31年(1898)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
46	大下 藤次郎	金剛甲板にて	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
47	大下 藤次郎	「曙日記」	明治31年(1898)	墨、紙	島根県立石見美術館
48	大下 藤次郎	日記「明治三十一年之記」	明治28年(1895)	墨、紙	島根県立石見美術館
49	大下 藤次郎	オーストラリア航海スケッチブック	明治31年(1898)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
50	大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	明治44年(1911)	水彩、紙	島根県立石見美術館
51	大下 藤次郎	スケッチブック	明治39～44年(1906～11)頃	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
52		松江水彩画講習会会員名簿	明治44年(1911)	墨、紙	島根県立石見美術館

展示室A 大下藤次郎・山紫水明を描く

会 期：平成27年7月1日(水)～8月3日(月)

内 容：大下藤次郎の水彩画から、山岳や湖沼など風光明媚な景勝地を描いたものを中心に紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	多摩川畔	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	多摩川上流	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	白丸	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	小丹波	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	穂高山の残雪	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	残雪	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	高原	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	初夏	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	朝	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	木立	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	西山峠	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	山の眺め	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	山上の眺め	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	山間の道	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	浮き雲	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	雪の山	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	雪の山	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	雪の山	明治40～44年(1907～11)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	雪の山	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	水辺の山	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	水辺風景	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	尾瀬	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	水芭蕉	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	富士を望む	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	富士山	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	富士を望む	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	檜原湖の秋	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	湖上の雲	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	猪苗代	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
33	大下 藤次郎	湖水を望む	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
34	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
35	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
36	大下 藤次郎	飯坂	明治44年(1911)	水彩、紙	島根県立石見美術館
37	大下 藤次郎	『水彩写生旅行』	明治44年(1911)刊	単行本	島根県立石見美術館
38	大下 藤次郎	絵日記	明治40年(1907)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
39	大下 藤次郎	絵日記	明治41年(1908)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
40	大下 藤次郎	尾瀬沼絵はがき	明治41年(1908)	印刷絵はがき4枚組	島根県立石見美術館
41	大下 藤次郎	尾瀬沼絵はがき	発行年不詳	印刷絵はがき4枚組	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報7月30日 展覧会紹介記事

読売新聞6月13日 展覧会情報

山陰中央新報6月13日 展覧会紹介記事

展示室A 開館10周年記念 10人の学芸員が選ぶコレクションベスト10!

会 期：平成27年8月5日(水)～9月14日(月)

内 容：開館10周年を記念し、OB、OGも含めた当館学芸員10名が、おすすめ作品をそれぞれ1点選び、コメントつきで紹介した。本展に合わせ、来場者による人気投票も実施した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画	島根県立石見美術館
2	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正～昭和初期 (1920～30年代)	油彩、絹本	島根県立石見美術館
3	狩野 松栄	益田元祥像	桃山時代	絹本着色	島根県立石見美術館
4	山本 琴谷	年中行事図屏風	江戸時代末頃	紙本着色	島根県立石見美術館
5	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本着色	島根県立石見美術館
6	イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス 「Musique de Nuit」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。 Vネックライン、七分丈のラグランスリーブス、トラペーズラインのスカート	島根県立石見美術館
7	クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのシース (鞘型)・ドレス	島根県立石見美術館
8	アンドレ・マルティ	『今日の流行とおしゃれ』	1919年	ボショワール、紙 12点組	島根県立石見美術館
9		ロシア・アヴァンギャルド期の テキスタイル・デザイン	1926～31年	水彩、紙	島根県立石見美術館
10-1	ベルナルド・フォコン	<夏休み>より 「到着」	1978年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
10-2	ベルナルド・フォコン	<夏休み>より 「悪魔のミントシロップ」	1980年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館

関連事業

開館10周年記念「あなたが選ぶコレクションベスト10！」

来場者によるコレクションの人気投票を実施。投票結果は、11月27日の「キネマとアートと音楽の夕べ」でステージパフォーマンスとして発表した。

投票期間：8月5日～10月26日

投票結果：1位＝草間彌生《南瓜》、2位＝澄川喜一《おろち》、3位＝森 英恵《ジャンプスーツ・カフタン》、4位＝①アンドレ・マルティ《『今日の流行とおしゃれ』より「風の中の翼」》／②マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス》、6位＝①狩野松栄《益田元祥像》／②黒田清輝《ボラの黄葉》／③岡田三郎助《黒き帯》、9位＝大下藤次郎《メルボルン港》、10位＝①藤田嗣治《アントワープ港の眺め》、②竹内栖鳳《藤花薔花群犬図屏風》、③雲谷等顔《押絵貼屏風》

新聞掲載

中国新聞9月2日 展覧会紹介記事

読売新聞9月3日 展覧会紹介記事

朝日新聞9月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月11日 展覧会紹介記事

展示室A うつくしい／うつくしくない

会 期：平成27年11月21日(土)～平成28年1月11日(月・祝)

内 容：「美しさ」の基準について考えるきっかけとなるような作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
4	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
5	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
6	ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ、 ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
7	サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイトランスファー・プリント	島根県立石見美術館
8	アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より モデルとマネキン	1945年	ダイトランスファー・プリント	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
9	アーヴィン・プリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より 壊れた鏡	1946年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
10	アーヴィン・プリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より 広告写真	1948年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
11	アーヴィン・プリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」より 顔の上の線	1949年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
12	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて 『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて 『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて 『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
15	ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
16	ベルナルド・フォコン	アントワーヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
17	ベルナルド・フォコン	デミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
18	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ビビアン・リーとしての私・1	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館
19	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/パルドーとしての私・3	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館
20	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ドヌーブとしての私・3	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館
21	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ボン・ガールとしての私・1	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館
22	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ジョディー・フォスターとしての私・1	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館
23	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/イワシタ・シマとしての私	1996年	イルフォクローム	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報12月13日 展覧会紹介記事

展示室A あなたはどう見る?—よく見て話そう美術について

会 期：平成28年1月13日(水)～3月7日(月)

内 容：鑑賞者が作品について自由に想像したり、作品そのものと深く向き合うことを期待し、キャプションや解説を付けずに展示する企画。毎年この時期に開催し、平成27年度で4回目。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「ダンス」	1914年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
4	山崎 修二	緑の静物	昭和30年(1955)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「蝶々」	1912～28年	紙にグアッシュ、プリント前の試しの色	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「バラと花々」	1912～28年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
8	ソニア・ドロナー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』15. 1924年	1925年	ポショワール、紙、20点組	島根県立石見美術館
9	ソニア・ドロナー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』20. 1924年 5人の女性	1925年	ポショワール、紙、20点組	島根県立石見美術館
10	ソニア・ドロナー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』13. 衣装のモデル	1925年	ポショワール、紙、20点組	島根県立石見美術館
11	ソニア・ドロナー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』2. 1925年 コスチューム・デザイン	1925年	ポショワール、紙、20点組	島根県立石見美術館
12	ソニア・ドロナー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』16. 1923年	1925年	ポショワール、紙、20点組	島根県立石見美術館
13 右	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 魔法 ベールの夜会服	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13 左	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 堂々たるひとウォルトのイブニング・ドレスとイブニング・コート	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
14 右	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 情け容赦なく美しい女 ウォルトのイブニング・ドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
14 左	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 夜に咲く薔薇 ウォルトのイブニング・ドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
15 右	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より ロザリンド ウォルトのイブニング・ドレス	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
15 左	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 秘密のねむるお墓 ウォルトの室内着	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
16 右	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より “コロマンデル” イブニング・ドレスとイブニング・コート	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
16 左	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 煙ベールのイブニング・ドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
17	マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。	島根県立石見美術館
	マリアノ・フォルチュニ	ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。	島根県立石見美術館
18	不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	島根県立石見美術館
19	ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。	島根県立石見美術館
20	アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1960年代後半～1970年	オレンジ色のビニール。スタンドカラー。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルロゴ・マーク、ヒップ・ボーンのミニ・スカート。	島根県立石見美術館
21	ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
22	ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
23	ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
24	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
25	ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
26	ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
27	ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館

関連事業

みるみると見てみる？

対話型鑑賞を研究・普及することを目的に、島根県内美術科教員を中心に組織されているグループ「みるみるの会」のナビゲーションで会話しながら作品鑑賞をする会を開催した。この年で5年目となる活動。

日 時：平成28年1月16日(土)、1月30日(土)、2月6日(土)、2月13日(土)、2月20日(土) 各日14:00～

会 場：展示室A

新聞掲載

朝日新聞1月15日 展覧会情報

山陰中央新報2月28日 展覧会紹介記事

展示室A イワミ・メンズコレクション

会 期：平成28年3月9日(水)～4月25日(月)

内 容：美人画展のカウンター企画として、所蔵品から男性像を集めた展示を行った。女性像との比較を通し、日本美術における男性イメージの特徴を探ると同時に、女装した男性のセルフポートレートも紹介することで、性差を意識した鑑賞のよびかけを試みた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	小堀 四郎	ブルターニュの男	昭和5年(1930)	油彩、紙	島根県立石見美術館
4	狩野 松栄	重要文化財 益田元祥像	桃山時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
5	松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
6	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
7	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
8	小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治時代末～昭和時代初期	紙本金地著色、六曲一双	島根県立石見美術館
9	山本 琴谷	月下横臥図	万延元年(1860)	絹本淡彩、軸	島根県立石見美術館
10	寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
11	筆者不詳	人麻呂図屏風	江戸時代中期	紙本金地著色、六曲一隻	島根県立石見美術館
12	円山 応挙	柿本人麻呂像	明和2年(1765)頃	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
13	海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
14	曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
15	曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸時代	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
16	近衛 信尹	渡唐天神	桃山時代	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
17	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) デートリッヒとしての私・2	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
18	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) ガルボとしての私・1	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館

展示室B ロシア・アヴァンギャルドのテキスタイル・デザイン

会 期：平成27年3月26日(木)～4月13日(月)

内 容：1920-30年代の革命期のロシアで制作された布地(テキスタイル)のデザインを紹介した。農業や工業を示すデザイン、飛行機や潜水艦を表したデザインなど、この時期のロシアでは、当時の社会情勢を反映した独特なデザインのテキスタイルが作られた。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-1		紙	島根県立石見美術館
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-2		紙	島根県立石見美術館
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-3		紙	島根県立石見美術館
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-4	1922年	紙	島根県立石見美術館
5		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-5		紙	島根県立石見美術館
6		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-6		紙	島根県立石見美術館
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-7	1922年	紙	島根県立石見美術館
8		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-8	1922年	紙	島根県立石見美術館
9	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-10		紙	島根県立石見美術館
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-12		紙	島根県立石見美術館
11	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-13		紙	島根県立石見美術館
12	ナゼレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-14		紙	島根県立石見美術館
13	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-15		紙	島根県立石見美術館
14	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-16		紙	島根県立石見美術館
15	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-19		紙	島根県立石見美術館
16	ジナイダ・ヘレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-22		紙	島根県立石見美術館
17	ジナイダ・ヘレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-23		紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-29	1930年	紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-33	1930年	紙	島根県立石見美術館
20		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-35	1930年	紙	島根県立石見美術館
21	アナスタシヤ・シュエキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-37	1931年	紙	島根県立石見美術館
22		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-1	1928年	紙	島根県立石見美術館
23		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-2		紙	島根県立石見美術館
24		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-3		紙	島根県立石見美術館
25		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-4	1928年	紙	島根県立石見美術館
26		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-5		紙	島根県立石見美術館
27		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
28		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-7	1926年	紙	島根県立石見美術館
29		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-8		紙	島根県立石見美術館
30		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-9		紙	島根県立石見美術館
31		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-10	1927年	紙	島根県立石見美術館
32		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-11	1928年	紙	島根県立石見美術館
33		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-12	1927年	紙	島根県立石見美術館
34		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-14	1928年	紙	島根県立石見美術館
35		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-1	1930年	紙	島根県立石見美術館
36		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
37		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-1	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
38	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-2	1920～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
39	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
40		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
41		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-5	1930～35年	綿、プリント	島根県立石見美術館
42	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
43	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
44		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-8		綿、プリント	島根県立石見美術館
45	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル8-1	1929～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

展示室B 石見根付

会 期：平成27年6月11日(木)～9月7日(月)

内 容：江津市に寄贈された七田眞氏の根付コレクションを中心に石見根付を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
2	伝富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
3	作者不詳	猪牙に山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
4	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
5	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
6	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
7	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
8	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
9	伝文章	唐辛子	18世紀	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
10	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
11	伝巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
12	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田眞コレクション)
13	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田眞コレクション)
14	貫満	筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
15	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
16	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
17	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
18	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
19	廣花堂	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
20	作者不詳	猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
21	作者不詳	堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
22	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
23	作者不詳	枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
24	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田眞コレクション)
25	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
26	作者不詳	流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
27	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
28	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
29	葛刈	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
30	正吉	八景図	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田眞コレクション)
31	一正	鮑に蟹	19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
32	作者不詳	小野小町	18～19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
33	作者不詳	蛤に鼠	18世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
34	作者不詳	亀に狼	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
35	正直	虎	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
36	晴民	蓮葉に蛙	19世紀	セイウチの牙	江津市(七田眞コレクション)
37	作者不詳	関羽	18世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
38	巖水/作者不詳	トンコツ(煙草入れ)・煙管筒	19世紀	竹/黄楊	江津市(七田眞コレクション)
39	臥農/作者不詳	香入提物・猿根付	18世紀	黒檀/海松	江津市(七田眞コレクション)
40	作者不詳	一つ揚げ煙草入れ・鮑根付	18世紀	革/黒柿・鹿角象嵌	江津市(七田眞コレクション)
41	富春	蓮葉に養亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
42	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
43	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
44	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館
45	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
46	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
47	作者不詳	猪牙に蜘蛛	18～19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
48	中村松間齋/芳晴	鷹に猿印籠・根付	19世紀	高時絵/黄楊	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞6月19日 展覧会情報

展示室B バイアスカットのエレガンス マドレーヌ・ヴィオネ

会 期：平成27年9月9日(水)～10月26日(月)

内 容：1920-30年代を代表するファッション・デザイナー、マドレーヌ・ヴィオネの衣装と、ヴィオネと協働したイタリア未来派の画家エルネスト・タヤートの版画作品を特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。	島根県立石見美術館
2	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアスカット。	島根県立石見美術館
3	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフ。サーキュラースカート。ホルターネック。ストールは黒いチュール。	島根県立石見美術館
4	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスのツーピース。ピンクのシルクシフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。	島根県立石見美術館
5	エルネスト・タヤート	たばこ ヴィオネのドレス	1922年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
6	エルネスト・タヤート	「モデル」の時間 ヴィオネの店で	1922年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
7	エルネスト・タヤート	パリでの仮縫い ヴィオネの飛行機旅行のためのドレス	1922年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	エルネスト・タヤート	ローマの復活祭の土産 ヴィオネの午後のドレス	1922年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
9	エルネスト・タヤート	ヴィオネのドレス	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
10	エルネスト・タヤート	ヴィオネのコート	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
11	エルネスト・タヤート	ヴィオネのケープ	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
12	エルネスト・タヤート	ヴィオネの夜のドレス	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
13	エルネスト・タヤート	波 ヴィオネの水着	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
14	エルネスト・タヤート	嵐 ヴィオネのドレス	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
15	エルネスト・タヤート	黒百合 ヴィオネの夜のドレス	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
16	エルネスト・タヤート	秋 ヴィオネのスーツ	1923年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
17	エルネスト・タヤート	劇場にて ヴィオネのミンクのコート	1924年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
18	エルネスト・タヤート	ゴルフのために ヴィオネのゴルフウェア	1924年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
19	エルネスト・タヤート	ジャポニカ ヴィオネの夜のドレス	1924年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
20	エルネスト・タヤート	出発…出発… ヴィオネの旅行着	1924年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
21	エルネスト・タヤート	温室の中で ヴィオネのダンスウェア	1924年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
22	エルネスト・タヤート	ヴィオネの織り地のドレス	1924～25年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
23	エルネスト・タヤート	ビアリッツ、ヴィオネの店	1924～25年	オフセット印刷、ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
24	ジョージ・ホイニンゲン＝ ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館

展示室B 宮 芳平 詩と版画

会 期：平成27年10月28日(水)～12月21日(月)

内 容：絵を描く喜びと苦悩を綴った宮芳平の詩を言葉パネルにして、銅版画とともに紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	宮 芳平	湖と乙女	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
2	宮 芳平	湖と乙女(月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
3	宮 芳平	自画像	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	山と月	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
5	宮 芳平	山(年賀状)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
6	宮 芳平	裏山	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	山(冬の裏山)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	ハヶ嶽	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	山湖	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	叢	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	御神木	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	松	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
13	宮 芳平	郊外	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
14	宮 芳平	月(望月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	門	昭和9年(1934)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	実のなる木	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	水辺	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	水	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	雲	昭和8年(1933)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
21	宮 芳平	雨 その1	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	雨 その2	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	おぼろの太陽	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
24	宮 芳平	田舎(三日月)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
25	宮 芳平	室内	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
26	宮 芳平	コーヒーわかし	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
27	宮 芳平	もろこしとトマト	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館
28	宮 芳平	コスモス	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
29	宮 芳平	茄子の木	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
30	宮 芳平	庭の花(桜草)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
31	宮 芳平	自画像(眼を痛める)	昭和10年(1935)	エッチング、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞11月13日 展覧会紹介記事

中国新聞12月11日 展覧会紹介記事

中国新聞12月18日 展覧会紹介記事

展示室B 木から生まれる美術

会 期：平成27年12月23日(水・祝)～平成28年2月29日(月)

内 容：木を使った様々な分野の作品を紹介。素材を活かした表現方法の違いに注目した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	石井 柏亭	木場	大正3年(1914)	木版、紙	島根県立石見美術館
2	織田 一磨	石見有福温泉	大正14年(1925)	木版、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
3	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8年(1919)	木版、紙	島根県立石見美術館
4	畦地 梅太郎	園谷の残雪	昭和42年(1967)	木版、紙	島根県立石見美術館
5	畦地 梅太郎	火の山	昭和48年(1973)	木版、紙	島根県立石見美術館
6	畦地 梅太郎	ささやき	昭和53年(1978)	木版、紙	島根県立石見美術館
7	畦地 梅太郎	鳥と山男	昭和58年(1983)	木版、紙	島根県立石見美術館
8	笹島 喜平	不動明王no.90	昭和58年(1983)	木版、紙	島根県立石見美術館
9	米原 雲海	仙丹	明治43年(1910)	木	島根県立石見美術館
10	内藤 伸	豊公	大正7年(1918)	木	島根県立石見美術館
11	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木、彩色	島根県立石見美術館
12	小林 敬生	蘇生の刻一早春一	昭和63年(1988)	木口木版、紙	島根県立石見美術館
13	永瀬 義郎	祈り	昭和31年(1956)	木版、紙(紺紙金刷)	島根県立石見美術館
14	永瀬 義郎	画家	昭和38年(1963)	木版、紙	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	狩獵	明治43年(1910)頃	木版、紙	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	ダンス	明治43年(1910)頃	木版、紙	島根県立石見美術館
17	浮世絵版木主版(復刻)	原画:写楽・春潮・歌麿	大正時代	木	島根県立石見美術館
18	浮世絵版木(復刻)	原画:政信	昭和初期	木 八色摺四枚揃(表と裏に版)	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報1月13日 石井拍亭「木場」作品紹介
 中国新聞1月15日 展覧会紹介記事
 朝日新聞1月29日 展覧会紹介記事
 山陰中央新報1月31日 展覧会紹介記事

展示室B ちいさきものはみなうつくし

会 期：平成28年3月2日(水)～4月18日(月)

内 容：「小さい」をキーワードとし、サイズの小さい作品や、「ちいさきもの」を描いた作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	宮 芳平	庭の花(桜草)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
2	宮 芳平	庭の花(くりん草)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
3	宮 芳平	庭の花(すみれ)	昭和10年(1935)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	黒百合	昭和9年(1934)頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
5		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』 より ファッションプレート	1912～1914年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
6	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製・釉薬	島根県立石見美術館
7	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	島根県立石見美術館
8	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	島根県立石見美術館
9	ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀・象牙	島根県立石見美術館
10	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
11	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
12	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
13	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館
14	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
15	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
16	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室C 魔法の刺繍

会 期：平成27年4月8日(水)～5月25日(月)

内 容：刺繍のその多様なあり方について、当館所蔵の20世紀に制作されたヨーロッパの衣裳や小物、約10点により紹介。人々を惹きつけてやまない刺繍の魅力に迫った。企画展「森英恵 仕事とスタイル」に併せて開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	リバティ商会	パース	1910年頃	異国風のモチーフを刺繍、緑色の絹をライニング、内側に鏡と小銭入れが縫い付けられている	島根県立石見美術館
2	タゴベルト・ベッヒェ	テーブルセンター	1919～20年	絹チュールにアップリケ	島根県立石見美術館
3	ポール・ポワレ	「プリトヌ」デイ・ドレス	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、上着袖に刺繍	島根県立石見美術館
4	ジャンヌ・ランヴァン	イブニング・ドレス	1928年	黒い絹チュール、スパンゲルを刺繍	島根県立石見美術館
5	エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色の絹サテンにビーズと金糸を刺繍	島根県立石見美術館
6	クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユにホースヘア(馬の毛)スパンゲル、人造宝石を刺繍	島根県立石見美術館
7	クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユにリボン、ビーズを刺繍	島根県立石見美術館
8	イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス	1967～68年	チュールにビーズ、スパンゲル、羽を刺繍	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報4月9日 展覧会紹介記事

中国新聞4月15日 展覧会紹介記事

展示室C 落ちる水・流れる水・漂う水

会 期：平成27年5月27日(水)～7月6日(月)

内 容：水の様態に注目し、水が作り出す風景や水のあるところに発生する人の営みなどをアーティストたちがどのように捉えてきたか、考察する試み。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
落ちる水					
1	山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	谷 文晁	滝図	文政11年(1828)	絹本着色	島根県立石見美術館
3	中林 竹洞	湖山清遠図	天保5～8年(1834～1837)頃	絹本墨画	島根県立石見美術館
4	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
流れる水					
5	吉田 博	風景	大正時代前期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
7	五百城 文哉	富士図	明治26～39年(1893～1906)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	多摩川	明治39年(1906)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
漂う水					
11	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	三宅 克己	伊豆風景	昭和初期(1926～1945)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～1922年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
18	ピエール・プリノー	帰りましょう ベールによるビーチドレス	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
19	不詳	美しい子爵夫人 海のための服	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
20	ジョルジュ・バルビエ	イソラ・ベッラ レドファンによる夜のためのドレス	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
21	不詳	ビーチへの別れ ヴィオネによる旅行のためのコート	1924～25年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
22	アンドレ・マルティ	潮風 ドウイエによる新婚旅行のドレス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
23	不詳	水泳レッスン 水着と水辺でまとうショール	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
24		バーム・ビーチ ウォルトのテーラード	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

展示室C 雪舟をうけつぐー雲谷派ー

会 期：平成27年9月3日(木)～10月26日(月)

内 容：戦国時代末期から江戸時代初期にかけて活動し、毛利氏の御用画師として活躍した雲谷等顔とその流派「雲谷派」を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等的	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、掛幅装	島根県立石見美術館
2	斎藤 等室	山水図	江戸時代初期	紙本墨画、掛幅装	島根県立石見美術館
3	雲谷 等顔	山水人物花鳥図 押絵貼屏風	江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲屏風一双	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代初期(元和年間頃)	紙本墨画淡彩、八曲屏風一双	島根県立石見美術館
5	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代初期(寛永中期頃)	紙本墨画淡彩、六曲屏風一双	島根県立石見美術館
6	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲屏風一隻	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞9月11日 展覧会情報

展示室C 何の色? 何のかたち? 抽象表現のたのしみ

会 期：平成27年10月28日(水)～12月21日(月)

内 容：館蔵品より抽象絵画、版画、彫刻を紹介。来場者に「何に見えるか?」という問いかけをし、答えをフセンに書いてボードに貼り付けていく企画が好評であった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	そりのあるかたち05	2005年	神代樺、樺、檜	島根県立石見美術館
2	澄川 喜一	そりのあるかたちB	2012年	樺	島根県立石見美術館
3	堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニア、角材	島根県立石見美術館
5	岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニア、角材	島根県立石見美術館
6	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	島根県立石見美術館
7	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	島根県立石見美術館
8	岩本 拓郎	無題	1975年	ドライポイント、紙	島根県立石見美術館

展示室C 草間彌生

会 期：平成27年12月23日(水・祝)～平成28年3月2日(水)

内 容：日本を代表するアーティスト、草間彌生の活動を収蔵品で概観する展覧会。1950年代から2000年代に制作された作品を一堂に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
2	草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
3	草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
7	草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ、水彩、パステル、紙	島根県立石見美術館
12	草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～1994年	詰め物をした縫製布、木、彩色	島根県立石見美術館
13	草間 彌生	南瓜(かぼちゃ)	1998年	強化プラスチック、塩化ビニール系塗装	島根県立石見美術館
14	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
15	草間 彌生	草間ドレス	1968/1998年再制作	ポリエステル・ベルベットやコットンにプリント	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞1月8日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月14日 展覧会紹介記事

第27回 島根県健康福祉祭 シルバー美術展

会 期：平成27年6月20日(土)～6月22日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県社会福祉協議会

第48回 島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成27年11月26日(木)～11月29日(日)
会 場：展示室D
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第34回 益田市美術展

会 期：平成27年12月3日(木)～12月6日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市美術展実行委員会

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成28年2月13日(土)～2月15日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

10周年事業



記念式典 制服披露

平成27年10月に開館10周年を迎えたことを記念して、以下の事業を行った。

【記念事業】

開館10周年記念式典

- 日時：平成27年10月11日(日)
 会場：グラントワ 小ホール
 出席者：200名
 内容：開館10周年の記念式典として、これまでお世話になってきた関係者を招いてセレモニーを実施した。溝口善兵衛知事、澄川喜一センター長、グラントワ設計者の内藤廣氏のスピーチに続き、森英恵氏デザインによる新しいアテンダント制服の披露も行った。演出は太宰久夫氏、音楽演奏は東京アーティストツウ合奏団。式典後、大ホールで開館10周年記念「音楽の祝祭 県民・第9コンサート」を開催した。



建築ツアー

「グラントワの建築と10年のあゆみ」展

- 会期：平成27年10月4日(日)～12日(月・祝)
 会場：グラントワ 多目的ギャラリー
 内容：計事務所提供の写真と模型によるグラントワの建築紹介と、10年間の展覧会・公演のポスター掲示により、開館10周年を祝った展覧会。開館10周年記念「きんさいデー」から、内藤廣氏の講演会までの1週間を会期とした。

内藤廣 グラントワ建築ツアー・講演会

- 日時：平成27年10月12日(月・祝)
 ツアー＝10:30～11:30、講演会＝14:00～15:30
 会場：グラントワ 小ホール(講演会)
 参加者：参加者：ツアー＝30名、講演会＝150名
 講師：内藤 廣(建築家、グラントワ設計者)
 内容：設計者・内藤廣氏によるグラントワ館内をめぐる建築ツアーと、講演会を実施。ツアーは多目的ギャラリーの展示から始まり、中庭、ホール、美術館のみどころや、設計建設時のエピソードなどが語られた。講演ではグラントワの建築に込めた思いや、内藤氏自身の建築に対する考えなどが語られた。

2015.10.12 内藤廣
 建築ツアー・講演会
 10:30-11:30 ツアー
 14:00-15:30 講演会
 鳥根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリー
 鳥根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリー
 【主催】鳥根県立文化芸術振興課、鳥根県立いわの宮図書館
 【協力】内藤建築設計事務所
 ◎関連事業
 「グラントワの建築と10年のあゆみ」展
 10月4日(日)～12日(月・祝) 多目的ギャラリー
 10周年記念「きんさいデー」
 10月4日(日)～12日(月・祝) 多目的ギャラリー
 10周年記念「音楽の祝祭 県民・第9コンサート」
 10月11日(日) 大ホール

内藤廣グラントワ建築ツアー・講演会チラシ

【制服リニューアル】

開館10周年の節目に、美術館の女性アテンダントの制服を当県出身のファッションデザイナー、森英恵氏のデザインによりリニューアルした。6月1日に記者発表を行い、10月11日の記念式典で披露、10月12日より着用を開始した。

【制作物】

鳥根県芸術文化センター「グラントワ」開館10周年記念誌

10年のあゆみを振りかえる記念誌を制作した。美術館、劇場それぞれの事業を10年分紹介したほか、美術館と劇場が協力して開催した「グラントワイベント」、アウトリーチ、フランチイズ団体やボランティア会の紹介、設計者内藤廣氏のインタビューも収録した。

開館10周年記念CD「名画をいろいろ話芸と音楽」

開館10周年を機に、初めてのオリジナルCDをリリースした。平成21年より取り組んできた、所蔵作品を活弁と生演奏で紹介するプロジェクト「名画をいろいろ話芸と音楽」で生まれた語りと楽曲を収録。美術館と劇場の複合施設として、美術館所蔵・寄託作品のカードを見ながら、弁士の語りと書き下ろし楽曲を楽しむ「耳できく展覧会」というコンセプトで制作した。



10周年記念誌



10周年記念CD

新聞掲載

中国新聞6月2日 制服リニューアル発表
 読売新聞6月2日 制服リニューアル発表
 山陰中央新報6月2日 制服リニューアル発表
 毎日新聞6月5日 制服リニューアル発表
 朝日新聞7月1日 制服リニューアル発表
 中国新聞10月10日 記念CDリリース記事
 山陰中央新報10月12日 記念式典取材記事
 読売新聞10月12日 記念式典取材記事
 中国新聞10月12日 記念式典取材記事
 毎日新聞10月12日 記念式典取材記事
 朝日新聞10月12日 記念式典取材記事
 山陰中央新報10月24日 建築ツアー取材記事
 朝日新聞11月25日 記念CDリリース記事
 山陰中央新報12月17日 記念CDリリース記事

教育普及活動



「仏像×ダンス」ワークショップ・美術館ロビーでのパフォーマンス



「仏像×ダンス」ワークショップ チラシ



「十五夜ノ宴」チラシ

【アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト事業】

文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」として、地域の団体と実行委員会を組織し、以下の事業に取り組んだ。

アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト実行委員会

島根県立石見美術館、(公財)しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)、中世の食再現プロジェクト、みるみるの会

企画展「祈りの仏像 石見の地より」関連プログラム

「仏像×ダンス」ワークショップ

日 時：平成27年9月20日(日)13:00～17:00(ワークショップ)

9月21日(月・祝)14:00～14:30(パフォーマンス)

会 場：グラントワ スタジオ1(ワークショップ)

グラントワ スタジオ1、中庭、美術館ロビー(パフォーマンス)

ワークショップ参加者：11名

講 師：藤田 善宏(ダンサー、振付家)、武田 晶(ダンサー)、大塚 茜(音楽家)

協 力：益田市石見神楽神和会青年部

内 容：石見美術館の企画展「祈りの仏像 石見の地より」展開催にあわせ、仏像のポーズを取り入れたダンスのワークショップを開催した。9月20日には講師の藤田善宏氏考案の「仏像ダンス」を踊る体験をし、翌21日にはワークショップ参加者が仏像のポーズを取り入れたダンスを披露し、約100名の観客も一緒にポーズをとりながら、様々な仏像の性格や印を学んだ。ダンスの伴奏は地域の伝統芸能、石見神楽の楽人が担当した。

「十五夜ノ宴」

日 時：平成27年9月27日(日)17:30開宴

会 場：萬福寺

参 加 者：40名

出 演：古事変奏集団[東保 光(作曲、指揮、コントラバス、鉦)、山田 路子(篠笛、能管)、小林 鈴勲(尺八)、喜羽 美帆(二十五弦箏)、福原 千鶴(鼓、締太鼓)、小林 武文(パーカッション)]、志人(語り、歌)

料 理：中世の食再現プロジェクト

内 容：中世期に益田地域を統治した豪族、益田氏ゆかりの寺院を会場とし、「益田家文書」にある饗宴の献立を再現した料理と、同文書を題材に作詞作曲された組曲を味わう催し。同寺が時宗道場であることから、宴の最後には観客全員が「踊り念仏」のパフォーマンスに参加した。



「古事変奏集団feat.志人」アウトリーチ

古事変奏集団アウトリーチ演奏会

- 日 時：平成27年9月28日(月)
 会 場：益田市立吉田小学校
 参 加 者：6年生101人
 出 演：古事変奏集団[東保 光(作曲、指揮、コントラバス、鉦)、山田 路子(篠笛、能管)、小林 鈴勤(尺八)、喜羽 美帆(二十五弦箏)、福原 千鶴(鼓、締太鼓)、小林 武文(パーカッション)]、志人(語り、歌)
 内 容：古事変奏集団による邦楽器を用いた楽曲の演奏と楽器紹介、志人による言葉を用いたパフォーマンスを小学生が体験した。

「名画をいろいろ話芸と音楽vol.7 キネマとアートと音楽の夕べ」

- 日 時：平成27年11月27日(金)19:00開演
 会 場：グラントワ 小ホール
 参 加 者：140人
 出 演：坂本 頼光(案内役、活弁)、鈴木 広志(サクセス)、大口 俊輔(ピアノ)、小林 武文(パーカッション)
 内 容：島根県立石見美術館来場者を対象に行った人気投票の結果を「あなたが選ぶ石見美術館の名品ベスト10」として、弁士の話芸と、選ばれた作品を題材に作曲された音楽の演奏によって舞台パフォーマンスとして発表した。あわせて、益田出身の徳川夢声にちなみ、無声映画の活弁と生演奏付き上映を行った。



「キネマとアートと音楽の夕べ」ポスター

ワークショップ「絵から生み出す物語と音楽」

- 日 時：平成27年11月28日(土)、29日(日)各日14:00～16:45
 会 場：グラントワ 多目的ギャラリー
 参 加 者：18人
 講 師：坂本 頼光、鈴木 広志、大口 俊輔、小林 武文
 協 力：みるみるの会
 内 容：弁士と音楽家が、美術鑑賞を研究する島根県の教員グループ「みるみるの会」と協働し、絵画を題材に物語や音楽を作るためのワークショップを実施した。28日は「みるみるの会」がナビゲートする「対話による鑑賞」による物語づくりのワークショップ。29日には3名の音楽家による、音楽づくりのワークショップを実施した。ここで出たアイデアを元にした台本と楽譜によるパフォーマンスを、1月24日に開催した。



「名画をいろいろ話芸と音楽vol.8」

特別展「ようこそ美人画館へ」関連プログラム

「名画をいろいろ話芸と音楽vol.8」

- 日 時：平成28年1月24日(日)14:00開演(第1部)、18:30開演(第2部)
 会 場：展示室D
 参 加 者：54人(第1部、第2部合計)
 出 演：坂本 頼光(案内役、活弁)、鈴木 広志(サクセス)、大口 俊輔(ピアノ)、小林 武文(パーカッション)
 内 容：11月のワークショップの成果も反映したパフォーマンス。特別展「ようこそ美人画館へ」の出品作品を題材に、実際の絵の前で作品の説明と、作品のために書き下ろした楽曲の生演奏を行った。

新聞掲載

- 毎日新聞9月21日 「仏像×ダンス」ワークショップ取材記事
 中国新聞9月21日 「仏像×ダンス」ワークショップ取材記事
 山陰中央新報9月28日 「十五夜ノ宴」取材記事
 中国新聞9月29日 「十五夜ノ宴」取材記事
 中国新聞11月30日 ワークショップ「絵から生み出す物語と音楽」取材記事
 山陰中央新報12月3日 「キネマとアートと音楽の夕べ」取材記事
 中国新聞1月25日 「名画をいろいろ話芸と音楽vol.8」取材記事

【講座・講演など】

講座「日本の仏像」

日 時：平成27年7月14日(火)13:00～15:00
 講 師：椋木 賢治
 会 場：いわみーる
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(14名)

対話による鑑賞の授業

日 時：平成27年10月21日(水)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：明誠高等学校
 参 加 者：明誠高等学校1年生

講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成27年11月13日(金)13:00～15:00
 講 師：川西 由里
 会 場：いわみーる
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(8名)

講座「日本の仏像」

日 時：平成28年1月15日(金)13:00～15:00
 講 師：椋木 賢治
 会 場：いわみーる
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(8名)

安来市小・中学校教育研究会 図画・美術研修会

講座「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成28年1月15日(金)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：島根県立美術館
 参 加 者：安来市小・中学校教育研究会 図画・美術部教員

アートカードを用いた鑑賞の授業

日 時：平成28年2月18日(木)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：邑南町立瑞穂小学校
 参 加 者：邑南町立瑞穂小学校3年生

事例発表「『美少女の美術史』展」

日 時：平成28年3月9日(水)13:00～17:30(このうち1時間程度)
 講 師：川西 由里
 会 場：国立新美術館 研修室A・B

*文化庁委託事業「平成27年度メディア芸術典型促進事業」MAGMA学芸員会合における事例発表。展覧会企画グループ「トリメガ研究所」の一人である当館川西が、他のメンバー2人と共に展覧会のなりたちなどについて話した。

平成27年度島根県高等学校文化連盟美術・工芸専門部 石見地区彫刻講習会・コンクール

日 時：平成28年3月10日(木)
 講 師：南目 美輝、廣田 理紗
 会 場：グラントワ 多目的ギャラリー

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講座「森英恵」

日 時：平成27年9月24日(木)14:50～16:20
講 師：南目 美輝
会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 講座：「森鷗外と美術」

日 時：平成27年9月30日(水)14:50～16:20
講 師：川西 由里
会 場：島根県立石見高等看護学院

第3回 講座：「石見の仏像」

日 時：平成27年10月1日(木)14:50～16:20
講 師：椋木 賢治
会 場：島根県立石見高等看護学院

第4回 見学：企画展「祈りの仏像 石見の地より」

日 時：平成27年11月4日(水)14:50～16:20
講 師：椋木 賢治
会 場：島根県立石見美術館展示室D・A

第5回 講義：「米原雲海」

日 時：平成27年12月3日(木)14:50～16:20
講 師：左近充 直美
会 場：島根県立石見高等看護学院

第6回 講義：「名画をいろどる話芸と音楽」

日 時：平成27年12月10日(木)14:50～16:20
講 師：川西 由里
会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 実習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：平成27年12月17日(木)13:10～15:40(休憩含)
講 師：廣田 理紗
会 場：島根県立石見美術館講義室

ボランティア



「仏像×ダンス」衣装制作



ワークショップ「オリジナル匂い袋をつくろう!」



「子ども服を作ろう」衣装制作

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00~12:00)と午後(13:00~15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

6月27日、28日 ギャラリートークボランティア講習

ギャラリートークボランティアを対象とした所蔵作品についての講習会

4月1日~5月25日 コレクション展「森鷗外と明治、大正の美術」

5月27日~6月29日 コレクション展「大下藤次郎・旅とスケッチ」

7月1日~8月3日 コレクション展「大下藤次郎・山紫水明を描く」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

8月1日

企画展「澄川喜一」関連プログラム、ワークショップ「木でつくる小さなモニュメント」にて、ワークショップの補助を行った。

9月20日

企画展「祈りの仏像」関連プログラム、「仏像×ダンス」ワークショップにて、パフォーマンス用の衣装制作を行った。

10月24日、25日

企画展「祈りの仏像」関連プログラム、ワークショップ「オリジナル匂い袋をつくろう!」にて、ワークショップの補助を行った。

3月12日、13日、19日、20日、21日

企画展「こどもとファッション」関連プログラム、子ども服飾デザイン研究室vol.2「子ども服を作ろう」の制作、およびファッションショーの補助を行った。

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界子ども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、浜田市世界子ども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑨ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界子ども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水滸む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	プルターニユの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
饒嘯	鳳凰 I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウィーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン＝エミール・ラブレール	マリイ・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン＝エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル＝アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌「ルヴュ・ブランシュ」のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュルドウイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳小舎のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ベルナルド・フォコン	アントワーヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、バリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッコ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。シルクサテンのドレス。ドレスの背には大きなりボン飾り。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス。クルーネック、長袖のボディ。コンシャスでシンプルなフォルム。裾にスリット。左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ。腰に濃紺のブレードでベルト飾り。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り。ストール付き。同素材のタイトスカート。
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン。同素材でできたベア・トップのロングドレス。
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス。胸元に桜色のコサージュ飾り付き。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート。同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットの前開きのドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパンゲルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボティス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボア飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンクル、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスター付きフレア・ボトムのパンツ。

作家名	作品名	制作年	材質
シャルル=フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアププリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアププリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキー/ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキー/ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にベイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花弁の形をアププリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアスカット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。

作家名	作品名	制作年	材質
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーヴ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターン・ウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターン・ウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン・ウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッセルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン・ゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	ブレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	服飾	不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス。全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅう。レースの飾り。両脇に大きな飾りポケット。背中に貝ボタンの装飾。	
2	服飾	不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス。前身頃に細かな襷飾り。襟とスカートにスカラップ（ホタテ貝の貝殻）型の縁飾り。後方に大きなボウ飾り。	

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
世界遺産登録記念 特別展「富士山—信仰と芸術」 静岡県立美術館 平成27年9月5日～10月12日 山梨県立博物館 平成27年10月24日～11月30日	《武蔵野図屏風》 狩野栄信《富士三保清見寺図》
「ムルロ工房と20世紀の巨匠たち」 DIC川村記念美術館 平成27年4月4日～5月12日 神奈川県立近代美術館 葉山 平成27年5月24日～7月20日 島根県立美術館 平成27年7月29日～9月10日 北九州市立美術館 平成27年9月19日～11月3日	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン《オートバイ・コミオ》 アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》 ピエール・ボナール《『ルヴェ・ブランシュ』》
「しまね画人伝 島根県立美術館コレクションを中心に」 島根県立美術館 平成28年1月2日～2月15日	雲谷等顔《押絵貼屏風》 雲谷等益《四季山水図屏風》 富岡鉄斎《江山往住図》 田中頼璋《白雲紅樹》 石井柏亭《芙蓉湖》 大下藤次郎《日光》 大下藤次郎《早春》 大下藤次郎《天ヶ瀬》 大下藤次郎《暮景》 大下藤次郎《波》 大下藤次郎《波の音》 大下藤次郎《小豆島》 大下藤次郎《宍道湖の黄昏》 丸山晚霞《百合》 大下藤次郎 スケッチブック(松江取材) 大下藤次郎 松江水彩画講習会会員名簿

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	21,884	1,287	1,758	0	3,045	2,076	871	2,629	5,576
5月	35,505	5,065	4,751	48	9,864	5,842	1,641	10,834	18,317
6月	33,119	2,364	2,910	743	6,017	6,064	1,615	2,332	10,011
7月	31,973	2,558	3,234	0	5,792	5,097	2,662	2,362	10,121
8月	35,953	6,039	5,780	65	11,884	4,471	3,655	5,897	14,023
9月	39,453	3,771	4,112	0	7,883	5,886	1,356	6,868	14,110
10月	45,954	9,840	9,111	0	18,951	10,262	2,131	12,424	24,817
11月	43,281	5,688	5,468	872	12,028	9,287	2,134	9,210	20,631
12月	32,478	0	1,019	874	1,893	6,581	3,615	5,156	15,352
1月	22,671	0	1,683	0	1,683	5,105	3,155	2,756	11,016
2月	24,990	475	1,423	1,223	3,121	4,476	1,504	5,993	11,973
3月	25,805	3,186	3,190	60	6,436	1,804	2,725	4,229	8,758
合計	393,066	40,273	44,439	3,885	88,597	66,951	27,064	70,690	164,705

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小 計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	47	284	19	115	91	411	320	1,287
5月	322	1,282	112	556	745	1,166	882	5,065
6月	431	393	54	132	556	403	395	2,364
7月	74	249	5	139	504	900	687	2,558
8月	331	702	39	194	1,433	1,420	1,920	6,039
9月	130	841	50	241	1,132	639	738	3,771
10月	595	1,729	191	812	3,811	1,232	1,470	9,840
11月	391	1,366	101	399	882	823	1,726	5,688
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	42	3	39	38	199	153	475
3月	181	263	34	106	870	999	733	3,186
合計	2,503	7,151	608	2,733	10,062	8,192	9,024	40,273

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小 計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	47	0	353	121	101	790	346	1,758
5月	322	2	1,065	569	745	1,166	882	4,751
6月	431	1	362	156	616	903	441	2,910
7月	74	0	232	111	998	1,126	693	3,234
8月	331	1	565	150	1,433	1,420	1,880	5,780
9月	130	0	690	252	1,255	1,039	746	4,112
10月	595	10	1,197	796	3,811	1,232	1,470	9,111
11月	391	6	880	382	915	1,149	1,745	5,468
12月	0	32	158	22	70	668	69	1,019
1月	0	18	447	81	230	870	37	1,683
2月	5	0	163	66	114	848	227	1,423
3月	181	0	270	137	870	999	733	3,190
合計	2,507	70	6,382	2,843	11,158	12,210	9,269	44,439

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
森英恵 仕事とスタイル	平成27年4月18日～6月8日	46	8,716
澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル	平成27年7月11日～8月31日	45	8,597
祈りの仏像 石見の地より	平成27年9月19日～11月16日	53	19,299
こどもとファッション 小さな人たちへのまなざしの歴史	平成28年2月27日～4月11日	39	4,791
合計			41,403

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,472	1,463	1,467	1,449	1,454	1,456	1,473	1,467	1,453	1,453	1,441	1,423

収支概要

■収支概要

(1) 支出予算 単位：千円

センター運営費	20,961
指定管理委託料	343,614
展覧会事業費	99,515
企画展示費	94,352
常設展示費	5,163
教育普及費	1,225
教育普及(誘客促進)費	1,271
調査研究費	1,876
情報提供事業費	1,119
美術品保存修復事業費	1,565
美術品収集事業	1,500
センター利用促進事業費	1,000
合 計	473,646

※2月補正額

(2) 収入実績 単位：千円

企画展	11,352
常設展	1,764
パスポート	3,624
目的外使用料	5,232
合 計	21,972

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等は其の賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

- 2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

- 2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

- 3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

- 3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）
（平26条例1・一部改正）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 31,510	円 42,020	円 52,520	円 63,040	円 84,050	円 105,060
		土、日曜日 及び休日	37,810	50,430	63,030	75,640	100,860	126,080
	1階席	平日	21,010	28,010	35,020	42,020	56,030	70,040
		土、日曜日 及び休日	25,210	33,610	42,020	50,430	67,230	84,050
	小ホール	平日	8,400	11,200	14,000	16,800	22,410	28,010
		土、日曜日 及び休日	10,080	13,430	16,800	20,160	26,880	33,610
スタジオ1			4,750	6,330	7,920	9,500	12,670	15,850
スタジオ2			970	1,300	1,630	1,950	2,610	3,270
大ホール大楽屋1			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール大楽屋2			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール中楽屋1			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋2			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋3			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋4			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
大ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール中楽屋1			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール中楽屋2			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
多目的ギャラリー			3,930	5,250	6,570	7,880	10,510	13,140

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額）
イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計		円	円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

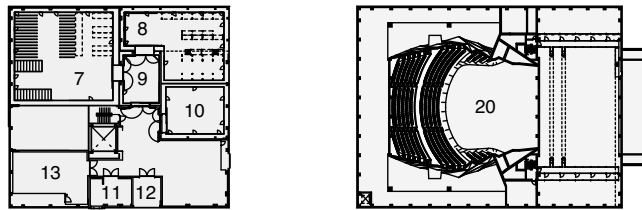
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

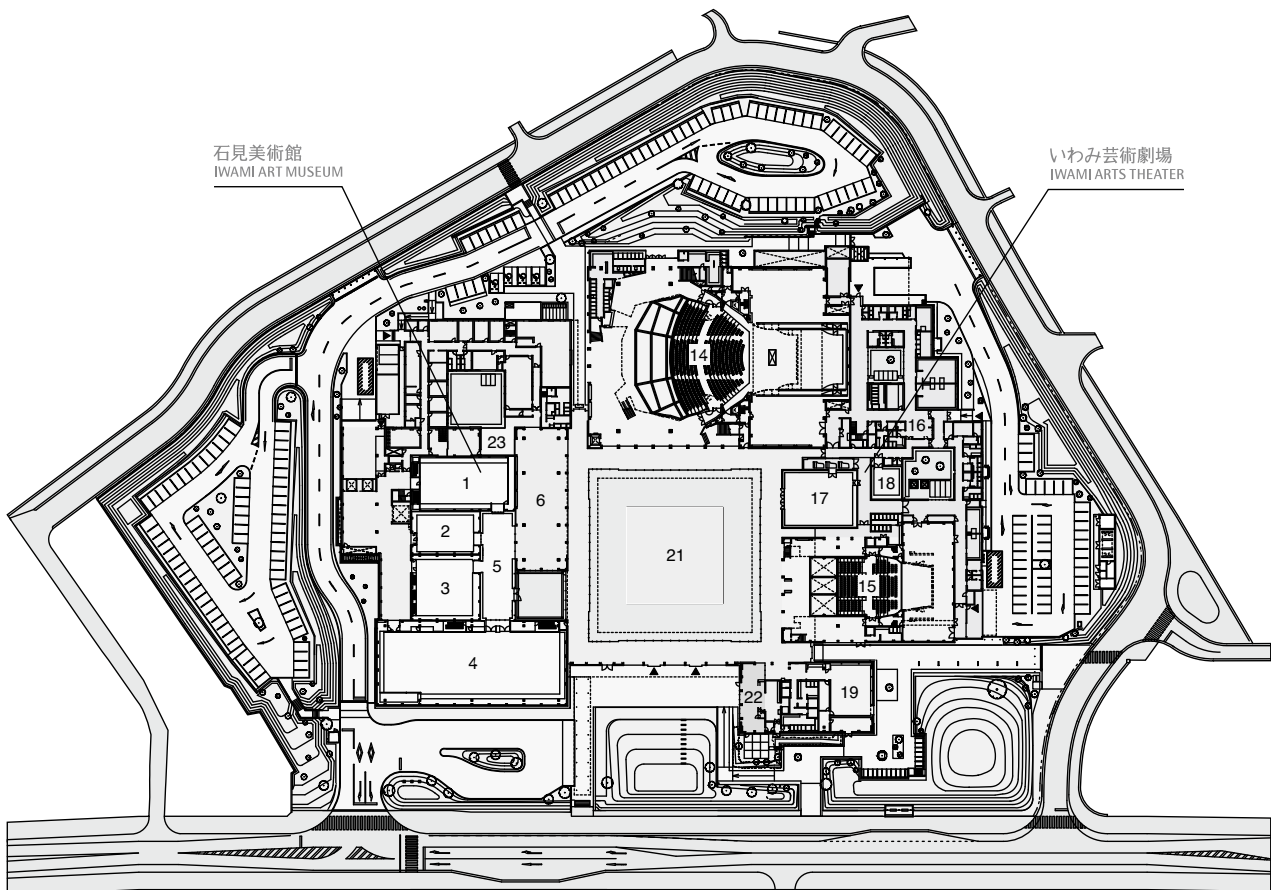
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- 1:展示室 A
- 2:展示室 B
- 3:展示室 C
- 4:展示室 D
- 5:展示前室
- 6:美術館ロビー
- 7:収蔵庫 1
- 8:収蔵庫 2
- 9:収蔵庫前室
- 10:一時保管庫
- 11:修復室
- 12:隔離室
- 13:写真室

いわみ芸術劇場

- 14:大ホール
- 15:小ホール
- 16:楽屋
- 17:スタジオ 1
- 18:スタジオ 2
- 19:多目的ギャラリー
- 20:大ホール 2 F 客席
- 21:中庭広場
- 22:レストラン
- 23:ミュージアムショップ

運営組織体制

施設名称

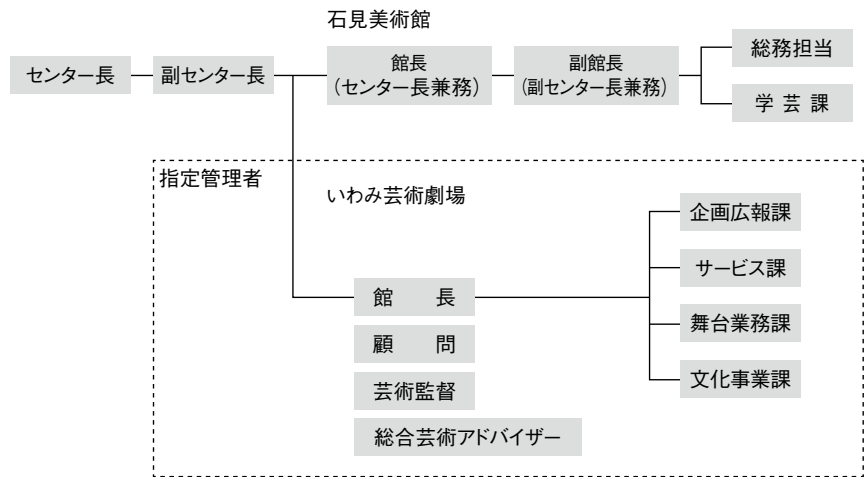
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(13名)

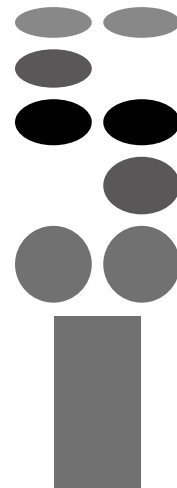
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

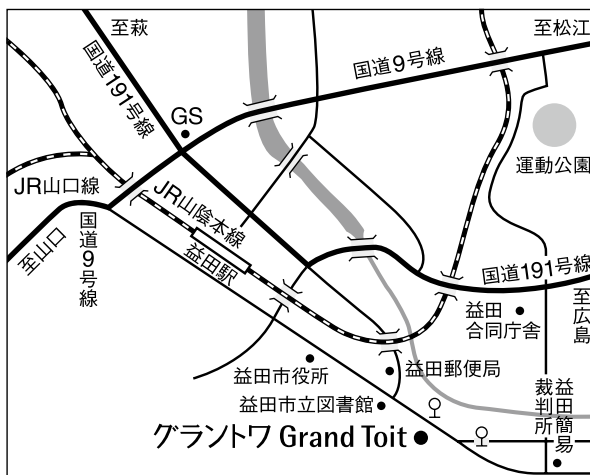
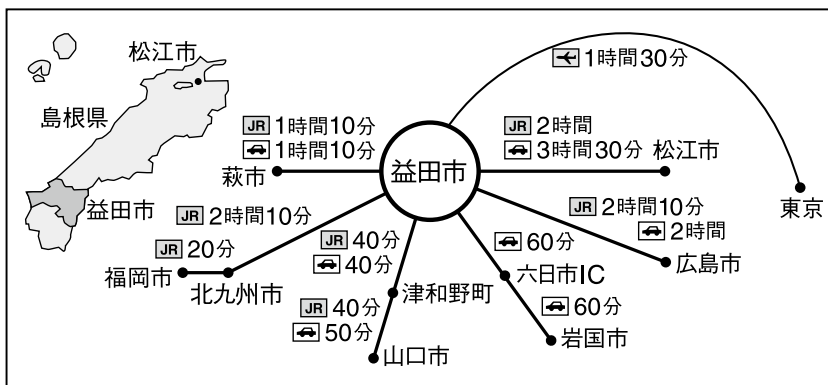
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港から連絡バスJR益田駅まで 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



平成29年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM